



Books for TMU Students 2025

Selected by TMU Faculty Members

都立大のみなさん、新年度がはじまりました！

本学の先生方からみなさんにぜひ読んでほしいという
お薦めの図書リストが届いています。都立大生のみなさ
んの知的好奇心を高め、新たな見識を広げるきっかけと
なる良書揃いです。これらの図書を入口として、ぜひ図
書館をたくさん活用してください！

都立大教員おすすめ図書

2025



Books for TMU Students 2025

Selected by TMU Faculty Members

- ◇ 全て貸出可能です。
- ◇ 貸出中の本は予約できます。

人文社会学部 人間社会学科 社会人類学教室	教員	隣のアボリジニ：小さな町に暮らす先住民
		はみだしの人類学：ともに生きる方法
		ヘタレ人類学者、沙漠をゆく：僕はゆらいで、少しだけ自由になった
人文社会学部 人文学科哲学教室	栗原 裕次先生	ギリシア哲学史（新版）
		バイデシア：ギリシアにおける人間形成（上・中・下）
		戦場のカント：加害の自覚と永遠平和
		スパルタ：古代ギリシアの神話と実像
人文社会学部 人文学科歴史学 考古学教室	大貫 俊夫先生	中世ヨーロッパ：ファクトとフィクション
	前田 弘毅先生	黒海の歴史：ユーラシア地政学の要諦における文明社会
法学部法学科 法律学コース	尾崎 悠一先生	田中耕太郎：闘う司法の確立者、世界法の探究者
		高校生のための法学入門 — 法学とはどんな学問なのか
		法学を学ぶのはなぜ？ — 気づいたら法学部、にならないための法学入門
	教員	コンテナ物語：世界を変えたのは「箱」の発明だった 増補改訂版
		テロ
経済経営学部 経済経営学科	教員	戦略プロフェッショナル：戦略独創経営を拓く：決定版

Books for TMU Students 2025

理学部 数理科学科	教員	柿の種
		幸福論
都市環境学部 都市政策科学科	山本 薫子先生	〈寝た子〉なんているの？：見えづらい部落差別と私の日常
		ポリティカル・コレクトネスからどこへ
		マイノリティ問題から考える社会学・入門：差別をこえるために
都市環境学部 環境応用化学科	教員	人類の星の時間
	上田 一樹先生	小説みたいに楽しく読める生命科学講義
		チーズはどこへ消えた？
システムデザイン学部 航空宇宙システム工学科	佐原 宏典先生	人工衛星・惑星探査機のための宇宙工学
		Cosmos（上・下）
システムデザイン学部 機械システム工学科	角田 直人先生	宇宙からの帰還（新版）
		データ視覚化の人類史
健康福祉学部 看護学科	飯塚 哲子先生	地域文化の再創造：暮らしのなかの表現空間
	小野 若菜子先生	エンドオブライフケア学“自分らしく生きる”哲学
健康福祉学部 理学療法学科	来間 弘展先生	樹木達の知られざる生活：森林管理官が聴いた森の声
		樹木が地球を守っている
健康福祉学部 作業療法学科	宮本 礼子先生	習慣と脳の科学：どうしても変えられないのはどうしてか
		日本人はなぜ「さようなら」と別れるのか
	宮寺 亮輔先生	舟を編む
健康福祉学部 放射線学科	高畠 賢先生	科学的根拠に基づく最高の勉強法
学術情報基盤センター	根元 裕樹先生	図解即戦力 AIのしくみと活用がこれ1冊でしっかりわかる教科書
		地域と都市の防災
大学教育センター	伏木田 稚子先生	「学ぶ」ということの意味
		「後回し」にしない技術：「すぐやる人」になる20の方法
大学教育センター /相談室	松岡 努先生	奇跡の脳：脳科学者の脳が壊れたとき



Books for New Students2025
Selected by TMU Faculty Members

隣のアボリジニ：小さな町に暮らす先住民

上橋菜穂子 著

筑摩書房 2010年

資料ID：10006333183
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02036070>



オーストラリア先住民を研究する文化人類学者の代表作。著者は文学作家でもあり、第15回日本文化人類学会賞を受賞している。

人文社会学部人間社会学科社会人類学教室
教員



はみだしの人類学：ともに生きる方法

松村圭一郎 著

NHK出版 2020年

資料ID：10006333142
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02386429>



「わたし」という存在を他者との繋がり
のなかで柔軟にとらえることの大切さ。
文化人類学の基本姿勢がよくわかる。

人文社会学部人間社会学科社会人類学教室
教員





ヘタレ人類学者、沙漠をゆく：僕はゆらいで、少しでも自由になった。

小西公大〔著〕

大和書房 2024年

資料ID : 10006333159
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02439807](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02439807)



インドの沙漠でフィールドワークを敢行し、
七転八倒した、自称「ヘタレ」の文化人類学
者。他者とともにあり続けるには文化人類学
こそが必要だと説く。

人文社会学部人間社会学科社会人類学教室
教員

ギリシア哲学史（新版）

加藤信朗 著

東京大学出版会 2024年

資料ID : 10006252367
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02436279](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02436279)



哲学は古代ギリシアに始まる。本書は哲学と
は何かを学ぶためにも最適な入門書です。特
に序章はじっくり一語一語を噛みしめ味わい
ながら読むに値します。

人文社会学部人文学科哲学教室
栗原裕次先生





パイデΙΑ：ギリシアにおける人間形成（上・中・下）

W・イエーガー 著
曽田長人 訳

知泉書館 2018,2024年
知泉学術叢書3, 31, 34

資料ID : 10006341997 上
資料ID : 10006342001 中
資料ID : 10006342010 下

[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440106](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440106)



[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440107](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440107)



[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440108](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440108)



古代ギリシアの人間教育とはどのようなものだったのか。ドイツ人研究者の古典的名著の正確で読みやすい翻訳がついに完成しました。ヨーロッパ文化の源流に遡って「人間とは何か」を考えてみましょう。

人文社会学部人文学科哲学教室
栗原裕次先生

戦場のカント：加害の自覚と永遠平和

石川求 著

筑摩書房 2024年
筑摩選書285

資料ID : 10006342028
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440109](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440109)



一人のカント学徒がどのように自身の哲学をアクチュアルな問題にぶつけて、その衝撃を受け止めたのか。今日の私たちが戦争と平和に向き合う仕方を考えるきっかけを提供しています。

人文社会学部人文学科哲学教室
栗原裕次先生

スパルタ：古代ギリシアの神話と実像

長谷川岳男 著

文藝春秋 2024年
文春新書1469

資料ID : 10006347274
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440562](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440562)



古代ギリシア哲学を理解するには同時代の文学・歴史・芸術の研究が欠かせない。本書はギリシア社会の特性を（よくあるアテナイからではなく）スパルタから明らかにしている。伝説から解放されたスパルタ像は私たちが自分たちの社会のあり方を反省するのに役立つだろう。

人文社会学部人文学科哲学教室
栗原裕次先生

中世ヨーロッパ：ファクトとフィクション

ウィンストン・ブラック 著
大貫俊夫 監訳

平凡社 2021年

資料ID : 10006333134
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02439779>



中世ヨーロッパは本当に暗黒時代なのか？歴史をとらえる上で、どうしても偏見や先入観から逃れられない私たち。ファクトとフィクションのあいから、歴史の面白さを実感することができます。

人文社会学部人文学科歴史学・考古学教室
大貫俊夫先生



黒海の歴史：ユーラシア地政学の要諦における文明世界

チャールズ・キング 著
前田弘毅監訳

明石書店 2017年
世界歴史叢書

資料ID : 10004699966
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02319902>



「海」に歴史はあるのだろうか？「歴史」とは何だろうか？アジアとヨーロッパの境界は？
「国家」「国民」「民族」とは？ウクライナでなぜ戦争が行われているのだろうか？「黒海」とは何だろうか？「環黒海地域」とは？

人文社会学部人文学科歴史学・考古学教室
前田弘毅先生

田中耕太郎：闘う司法の確立者、世界法の探究者

牧原出 著

中央公論新社 2022年
中公新書2726

資料ID : 10005966489
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02413919>



田中耕太郎（1890-1974）は、商法学者（東京帝国大学教授）、文部大臣、貴族院・参議院議員、最高裁判所長官、国際司法裁判所裁判官を歴任した人物です。この経歴だけ見ても、どんな人物か気になりませんか？もちろん、法律学に取り組み、その発展に貢献してきた先人は多いのですが、そして、法律学の進展の歴史

（学説史）を研究する上でその先人の歩みが研究されることも少なくないのですが、一般向けの新書において法学者が取り上げられることは極めて稀です（経歴から見て分かる通り、法学者の枠組みで捉えていいのかよく分かりませんが…）。本書は、行政学者（政治学者）が政治史の叙述として書かれたものですが、法律学のあれこれを勉強する前に（あるいは、勉強を始めながら）、法律学者の伝記として、読んでみてはいかがでしょうか？

法学部法学科法律学コース 尾崎悠一先生





高校生のための法学入門：法学とはどんな学問なのか

内田貴 著

信山社 2022年

民法研究

レクチャーシリーズ

資料ID：10006349594

<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02415334>



法学（法律学）は、ほとんどすべての学生にとって大学で初めて学ぶ学問です。ルールや法が社会や国にとって重要であること、必要であることは言うまでもないことですが、法学というルールや法に関する学問がどのような学問か（法やルールを丸暗記することではありません）はあまりピンとこないと思います。著名な民法研究者（東京大学名誉教授）であるのみならず、法務省参与として平成29年民法改正（債権法改正と呼ばれる大改正です）にも当たった著者が、法学とはどのような学問について、明治時代におけるわが国の法学の成立を主要な素材の1つとして、当時高校生との対話を通じて説明するのが本書です。明治時代初期に西洋の法や法学を“輸入”（継受）するという大国家プロジェクトについてより本格的な書籍としては内田貴『法学の誕生』（筑摩書房、2018年）がありますので、ご関心があれば、あわせて読んでみてください。「高校生のための」というタイトルにはなっていますが、新入生の皆さんにとっても有益な文献だと思います。

法学部法学科法律学コース 尾崎悠一先生

法学を学ぶのはなぜ？：気づいたら法学部、にならないための法学入門

森田果 著

有斐閣 2020年

資料ID：10006207162
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02384934>



こちら、（主として高校生向けに）法学とはどのような学問かを扱う書籍です。法やルールの必要性や機能性、法の解釈や適用という法の使い方（法は“道具”なので、その使い方が重要です）についての説明を通じて法学をなぜ学ぶのかを明らかにします。また、後半では、様々な“先輩”（主に研究者や弁護士です）が「私がこれを学ぶ理由」という形でメッセージを寄せていますので、それらを通じて、法学を学ぶことの意味を考えてもらえればと思います。本格的に法学の学習を進めていく中では、難しい概念やよくわからない議論もたくさん出てくるのですが、そのようなものにチャレンジする上でも、なんのために法・ルールがあるのか、法学は何をする学問なのかを知っておくのは有益だと思います。副題は「気づいたら法学部、にならないための法学入門」ですが、なんとなく法学部に入學した人にもおすすめです。

法学部法学科法律学コース 尾崎悠一先生

テロ

フェルディナント・フォン・シーラッハ 著
酒寄進一 訳

東京創元社 2016年

資料ID：10006014247
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02299206>



164人の乗客を乗せた旅客機がハイジャックされ、7万人の観客がいるスタジアムに突入しようとしている。旅客機を独断で撃墜した空軍少佐の刑事責任を問う裁判を描いた戯曲。164人を犠牲にして7万人を救った少佐は刑事責任を問われるべきか？

法学部法学科法律学コース 教員

コンテナ物語：世界を変えたのは「箱」の発明だった（増補改訂版）

マルク・レビンソン 著
村井章子 訳

日経BP社 2019年

資料ID：10006014239
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02416240](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02416240)



法学は、人や社会を対象とする学問です。社会の常識や価値観は常に変化していきますし、科学技術・通信技術の進歩は社会の変化を加速していきますので、法学を勉強するにあたっては、人や社会（の変化）、科学技術等の進展への関心も必要です。たとえば、法学の中でもビジネス・ローと呼ばれる領域は最先端のビジネスとも接点を持つとても刺激的で興味深い分野であり、その学修にあたっては、ビジネスの進展や変化に関する関心を持ってほしいと思っています。本書は、経済活動のインフラとも言える物流・運送ビジネス（コロナ禍で様々な活動が制限される中で社会を維持するための物流の重要性は改めて認識されたと思います）に革命をもたらしたコンテナ輸送を扱うものです。運送業（特に、国際運送・国際貿易）の高度化をもたらしたコンテナ輸送の導入は「コンテナ革命」とも呼ばれるものであり、運送に関する法制度も大きな影響を受けました。法制度について勉強する前に、ビジネスの変化、社会の変化を感じてもらえればと思います。

法学部法学科法律学コース 尾崎悠一先生

Books for TMU Students2025
Selected by TMU Faculty Members



戦略プロフェッショナル：戦略独創経営を拓く：決定版

三枝匡 著

KADOKAWA 2022年

資料ID：10006342325
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440320](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440320)



経営の理論を実践で活かすことの意味を教えてください。企業経営に理論なんていらな
いと思っている人にこそ読んでほしい。

経済経営学部経済経営学科 教員





柿の種

寺田寅彦 著

岩波書店 1996年
岩波文庫 緑37-7

資料ID : 014520318
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02059407>



著者が「なるべく心の忙しくない、ゆっくりした余裕のある時に、一節ずつ間をおいて読んでもらいたい」と言っているように、ゆっくりと繰り返して読むことをおすすめしたい。

理学部数理科学科 教員



幸福論

アラン 〔著〕
神谷幹夫 訳

岩波書店 1998年
岩波文庫 青656-2

資料ID : 015424073
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB00645166>



幸福に関する93のプロポが収められています。一度よんで終わりというより自分の好みのプロポをなん度も繰り返し読むのがお勧めです。

理学部数理科学科 教員

〈寝た子〉なんているの? : 見えづらい部落差別と私の日常

上川多実 著

里山社 2024年



資料ID : 10006337374
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02430168>



「マイクロアグレッション」という言葉を聞いたことがあるだろうか。無意識の偏見や無理解、差別などの言動（発言や態度）を指す言葉で、日常的な些細な言動によって相手を傷つけるものを指す。しかし、言っている側に悪気はなく、場合によっては褒めているつもりであることもあり、相手を傷つけていることに気づきにくい。しかし、言われている側は、日々、小さな（マイクロ）差別、偏見を受け続けてしまう。本書の著者は、被差別部落ではない地域で生まれ育った。解放運動に携わってきた両親から「差別に負けるな」と言われる一方、外では「部落なんて知らない」と言う友人たちに囲まれ、混乱しながら育ってきた。本書は、そうした著者が大人となり、母となり、自分なりの部落差別との向き合い方について考えたエッセイである。日常に潜むマイクロアグレッションがどのような形で現れるか、について知り、考えることができる。

差別・被差別や社会問題等について「伝えなければ自然と消える」という意味で「寝た子を起こすな」と言われることがある。しかし、インターネット上で全国の部落地名一覧リストをばらまく加害が行われるような現代では、「寝た子を起こすな」はそもそも通用せず、知識がなければ差別側に取り込まれてしまう。被差別部落をはじめとした差別とそれに関わる偏見について知り、考えるための一冊。

都市環境学部都市政策科学科 山本薫子先生



Books for TMU Students2025
Selected by TMU Faculty Members

ポリティカル・コレクトネスからどこへ

清水晶子, ハン・トンヒョン,
飯野由里子 著

有斐閣 2022年

資料ID : 10005958063
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02412025](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02412025)



「ポリティカル・コレクトネス」は日本語ではよく「政治的正しさ」と訳される。昨今の日本では、「行き過ぎだ」とポリティカル・コレクトネス（ポリコレ）を批判する意見も聞かれるが、そこで言っているポリティカル・コレクトネスとはなんだろうか。米国で生まれたポリティカル・コレクトネスという概念だが、日本ではねじれた形で（当初の意味とは形を変えて）普及しているともよく言われる。本書では、そもそもポリティカル・コレクトネスとはどのように考えるか、ということを知ることができる。

同時に、「ポリティカル・コレクトネス」とされてることだけを絶対的に正しいと考えれば良いのか、それによって逆に排除や分断を生み出すことにならないか、という問題意識も本書では提示されている。皆が尊重され、生きやすい社会であるために、「ポリティカル・コレクトネス」だけで満足せず、その先をどのように目指していくことができるか、そのためにはどのように考えれば良いか、という視座を本書は与えてくれる。

都市環境学部都市政策科学科 山本薫子先生

マイノリティ問題から考える社会学・入門：差別をこえるために

西原和久, 杉本学 編

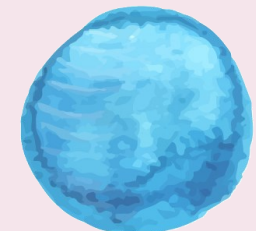
有斐閣 2021年

資料ID : 10005709640
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02392322](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02392322)



日本で暮らす外国人、難民をはじめ、日本におけるマイノリティと差別の問題に関心はあるが、あまり知識はなく、詳しいことは知らない、でも知りたい・考えたい、という人に向けた入門書。さまざまなマイノリティ問題の背景や現状に関する説明に加え、それらについて社会学の観点からどのように考えれば良いか、が提示されている。

都市環境学部都市政策科学科 山本薫子先生





Books for TMU Students2025
Selected by TMU Faculty Members

人類の星の時間

シュテファン・ツヴァイク
〔著〕
片山敏彦 訳

みすず書房 1996年
みすずライブラリー

資料ID : 10006342036
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440110](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440110)



タイトルの「人類の星の時間」というのは何のことだろうかと思うかも知れません。著者の比喩的表現だと思いますが、人類の歴史の中のまたたく星のような瞬間を描いた本です。歴史的に重要な瞬間もあれば、芸術に関する事柄や、技術革新に関する事柄も含めた12篇で構成されています。大学生の頃の自分に読めたかは分かりませんが、それぞれの人のタイミングで読んでみればきっと何か感じることもあると思います。

都市環境学部環境応用化学科 教員

小説みたいに楽しく読める生命科学講義

石浦章一 著

羊土社 2021年

資料ID : 10005737400
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02394950](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02394950)



なぜ動物の進化の順番がわかるのか、ヒトは地球上のどこで生まれてどう広まったのか、血族結婚の何が良くないのか、など気になるヒト・生物の謎は全て大学の研究で明らかになっている。基礎研究がどういう謎の解明に繋がっているのかわかりやすく説明されており研究への興味が湧く良著。

都市環境学部環境応用化学科 上田一樹先生



チーズはどこへ消えた？

スペンサー・ジョンソン 著
門田美鈴 訳

扶桑社 2000年

資料ID : 007843413
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB00956036](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB00956036)



変化の多い時代であり、在学時・卒業後に人生のレールなんてものはもはや無い。一步を踏み出すのはみんな怖いけどとにかく自分で状況を判断して動きださないといけない、ということを短い文章で痛感させてくれる良著。現代の学生に卒業までに読んで欲しい。

都市環境学部環境応用化学科
上田一樹先生



Book for TMU Students2025
Selected by TMU Faculty Members

人工衛星・惑星探査機のための宇宙工学

竹ヶ原春貴〔ほか〕共著

コロナ社 2024年

資料ID : 10006230439
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02430072](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02430072)



本書は、大学の理工学系の学部初年度生、工業高等専門学校上級生、あるいは宇宙に興味を持っている高校生を念頭に執筆しました。地球まわりの実用分野においても、宇宙探査の分野においても、いま（これから）皆さんが勉強している（しようとしている）大学教養課程の数学・物理が、どのような形で宇宙開発につながっているのか、またそのためにはその前段階の高校数学・物理からどのように進展しているのかを示すことができればという思いで執筆しました。

システムデザイン学部航空宇宙システム工学科
佐原宏典 先生

Cosmos （上・下）

カール・セーガン著
木村繁 訳

朝日新聞出版社 2013年
朝日選書 903,904

資料ID :
10005398519 上
10005398527 下

[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02191476](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02191476)



[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/
BB02191476](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02191476)



本書はこの宇宙の全てのことについて、身近な風景からそれを解釈することに努めた我々の歴史及び得られた成果について、著者であるカール・セーガン博士がとても分かりやすく記載されているものです。日常に追われる毎日ですが、ふと宇宙の中にある自分を意識する「宇宙視点」を獲得することにとっても良い名著です。

システムデザイン学部航空宇宙システム工学科
佐原宏典 先生

宇宙からの帰環（新版）

立花隆 著

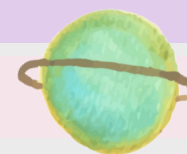
中央公論新社 2020年
中公文庫

資料ID : 10006342333
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440373](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440373)



宇宙空間にいる人間の身体と精神のリアルが迫ってくる名著。様々なエピソード、連続したドラマが展開され、宇宙開発の現実も知ることができる。

システムデザイン学部機械システム工学科
角田直人先生



データ視覚化の人類史

マイケル・フレンドリー、
ハワード・ウェイナー 著
飯嶋貴子 訳

青土社 2021年

資料ID : 10005802733
[https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02410620](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02410620)



普段何気なく使っているグラフの歴史や役割を知ることができる良書。データ社会について別の視点を与えてくれる。

システムデザイン学部機械システム工学科
角田直人先生

地域文化の再創造：暮らしのなかの表現空間

山崎功〔ほか〕編集

水曜社 2024年
文化とまちづくり叢書

資料ID：10006337135

<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02439776>



『地域文化』——文化が人間を創り、人間が文化を創るという循環的な営み。それは、その人自身の生命力の土台を形づくり、また『平和の文化』の有り様を体現するものでもあった。北海道から九州、台湾の37地域に培われた生活者の表現活動をレポート。

健康福祉学部看護学科
飯塚哲子先生

エンドオブライフケア学：“自分らしく生きる”哲学

浅見洋〔ほか〕編集

日本看護協会出版会
2024年

資料ID：10006333167

<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02435806>



エンドオブライフケアは、看護、保健・福祉、医学、哲学、倫理、心理、社会、宗教などの学問が取り組むテーマです。本書は、人文社会学分野を中心に、人間、死と生に関わることについて、様々な著者の視点から描かれています。自分のこと、家族のこと、ケアのこと・・・不安や迷いが生じたとき、様々な学問を学ぶ皆様にとって、何かヒントが見つかるかもしれません。

健康福祉学部看護学科
小野若菜子先生

樹木たちの知られざる生活：森林管理官が聴いた森の声

ペーター・ヴォールレーベン 著
長谷川圭 訳

早川書房 2018年
ハヤカワ文庫 NF531

資料ID：10006337200

<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02402794>



樹木がお互いにコミュニケーションをしていると言われたら信じるでしょうか？森にある木々はお互いに助け合いながら生きている。想像出来ますか？ドイツで森林の管理を長年携わった著者が観察してきたことを記載した興味深い書籍です。この本を読んだ後、大学近くの森を歩くと、森がまた違った視点で見えてくると思います。

健康福祉学部理学療法学科
来間弘展先生



樹木が地球を守っている

ペーター・ヴォールレーベン 著
岡本朋子 訳

早川書房 2023年

資料ID：10006333340

<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02439900>



「樹木達の知られざる生活」の続編となる書籍です。昨今の温暖化の影響を受けているのは植物も同様です。この地球環境の変化にどのように樹木が対処しているのか、予想を超える対応をしています。森林の愛おしさを知り、森林を大切に思う心を育てていただけたらと思います。

健康福祉学部理学療法学科
来間弘展先生



習慣と脳の科学：どうしても変えられないのはどうしてか

ラッセル・A・ポルドラック
〔著〕
児島修 訳

みすず書房 2023年

資料ID : 10006023312
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02416847>



「習慣」は、作業療法士が着目する人の行動状態のひとつです。習慣には良いものもあれば、客観的にはやめた方が良いものもあります。脳機能の観点から習慣をとらえるきっかけを与えてくれる面白い本です。

健康福祉学部作業療法学科 宮本礼子先生

日本人はなぜ「さようなら」と別れるのか

竹内整一 著

筑摩書房 2009年
ちくま新書 764

資料ID : 10006349545
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02439842>



国際化推進により英語コミュニケーションが促進されている今だから、日本語の意味を考えてみるのも大切だと思います。言葉の意味の深さを再認識できる本です。

健康福祉学部作業療法学科 宮本礼子先生

舟を編む

三浦しをん 著

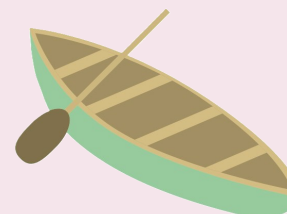
光文社 2015年
光文社文庫

資料ID : 10006342044
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440111>



普段何気なく使っている言葉にも意味があり、その意味を表すには工夫が必要です。また言葉には無数の見出し語があり、時代とともに生き物のように変化をする可能性を秘めていることから、この本では言葉を「海」、辞書はその海を渡るヒントとなる「舟」にたとえています。その辞書を編纂する作業は、大海原を大勢の力で渡るように、大変多く専門家が関わり、相当な時間かかるといわれます。また海外では、辞書の編纂に力を入れている国があります。なぜなら、言葉にはヒトをまとめる力があるからです。全員が協力して作業していくには、全員が共通して理解できるツールつまり言葉が必要だからです。この本には、その言葉の意味を表現する工夫、言葉が秘める力、言葉を学ぶ楽しみについて書かれています。大切な方に自分の考えていることを上手に伝えられるように、この機会に、一つ一つの言葉の意味を丁寧に考えてみませんか。

健康福祉学部作業療法学科 宮寺亮輔先生



科学的根拠に基づく最高の勉強法

安川康介 著

KADOKAWA 2024年

資料ID : 10006333175
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02439814>



勉強に自信がある人もない人も、科学的根拠に基づいた勉強方法を習得し、大学生活に活かしてほしい。

健康福祉学部放射線学科 高畠賢先生



図解即戦力 AIのしくみと活用がこれ1冊でしっかりわかる教科書

高橋海渡〔ほか〕 著

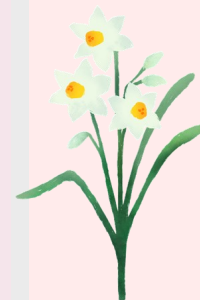
技術評論社 2023年

資料ID : 10006337390
<https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02415833>



AIに関して、知っておくべき基礎知識が全て詰められている一冊です。AIとは何か、それはどのように使われているか、AIはどのような手法や考え方に基いているのか。混同しがちなAIとこれまで研究などで用いられてきた統計学、データマイニングの違いとは何か。図解を含めて書いてあるので、AIに関して知らない人でも十分に読み解ける一冊になっています。重要なこととして、「AIはあくまでビジネス課題を解くための1つの手段であり、AIが解く課題を適切に設定できなければ意味がない」と書かれています。本書は、全体的にAIに関するプラス思考に基づいて書かれているので、AIってすごいんだというような感想を読むと思いが浮かぶと思いますが、AIを活かすためには、AIを活かす分野のことをよく知らないといけません。これからAIはより発展していき、日常生活にさえ必要不可欠になっていくと思いますが、その際に皆さんは、AIを適切に活用するために、大学などでそれぞれの専門分野を深めていくことになるでしょう。AIに使われる人ではなく、AIを使いこなせる人になるために、最低限知っておかなければならない。そういった基礎知識がこの一冊でわかるというような本です。

学術情報基盤センター 根元裕樹先生



地域と都市の防災

目黒公郎, 村尾修 編著

放送大学教育振興会
2016年

資料ID : 10006337408
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440142](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440142)



放送大学で開講されていた「地域と都市の防災」の教科書です。地域や都市という視点から日本の防災について考えることができる一冊です。目黒メソッドなど本書だけでは、やや理解が難しい部分もありますが、書かれていることは、災害に対する考え方や実例の解説、災害イメージーションなどのいざという時のために準備など知っておくと、実際に災害に遭った際に役立つことが書かれています。防災とそれに関わる分野を専門とする人だけでなく、日本に住んでいる以上、災害とは隣り合わせになりますので、日本に住んでいる全ての人に役立つ本でしょう。

学術情報基盤センター 根元裕樹先生

「学ぶ」ということの意味

佐伯胖 著

岩波書店 1995年
子どもと教育

資料ID : 014013082
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB00278551](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB00278551)



あなたにとって、「学ぶ」とはどういうことでしょうか。本書を通じて、「人はなぜ学ぶのか」「教えない学びとは何か」など、さまざまな疑問に心ゆくまで考えを巡らせることができます。「…学びとは、終わることのない自分探しの旅なのである」という一文の深みを、ぜひ一緒に味わってみませんか。

大学教育センター/システムデザイン研究科
伏木田稚子先生

「後回し」にしない技術：「すぐやる人」になる20の方法

イ・ミンギョ 著
吉川南 訳

文響社 2021年

資料ID : 10006342374
[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02440440](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02440440)



プロローグの末尾に、「実行は自分の才能に対する自信を育ててくれるもっとも効果的な方法であり、望むものを手に入れる唯一の手段だ」と書かれているのを読んだ瞬間、心が震えました。心理学にもとづくわかりやすい説明と、具体的に魅力的なエピソードの数々は、“今やるべきことをすぐしたいのに出来ない”という苦手意識の克服を後押ししてくれます。先延ばしにしない人でいられるよう、常に手元に置きたい一冊です。

大学教育センター/システムデザイン研究科
伏木田稚子先生



奇跡の脳：脳科学者の脳が壊れたとき

ジル・ボルト・テイラー

〔著〕

竹内薫 訳

新潮社 2012年

新潮文庫

資料ID：10005418895

[https://
opactmu.lib.tmu.ac.jp/
iwjs0013opc/BB02370833](https://opactmu.lib.tmu.ac.jp/iwjs0013opc/BB02370833)



脳科学者である著者は、脳梗塞によって左脳の一部の機能が失われるという出来事に見舞われます。この本では、その経験とそこから回復していく過程を踏まえて、左右の脳の機能に関する考えが述べられています。一般向けに読みやすく書かれており、人の心の成り立ちについていろいろなことを考えさせられます。TEDのプレゼンテーションでも著者が自らの体験を語っているので、URLをつけておきます（日本語訳あり）。

[https://www.ted.com/talks/
jill_bolte_taylor_my_stroke_of_insight?
subtitle=ja](https://www.ted.com/talks/jill_bolte_taylor_my_stroke_of_insight?subtitle=ja)

大学教育センター/相談室 松岡努先生



都立大教員おすすめ図書2025

2025年4月発行
東京都立大学図書館本館
<https://www.lib.tmu.ac.jp/>